

目 次

多導体用電線付属品 多導体用電線付属品専門委員会

委員会組織.....	(1)
第1章 総 説.....	(3)
1-1 経 緯.....	(3)
1-2 研究の経過.....	(3)
1-3 各章の概要.....	(3)
第2章 スペーサ.....	(4)
2-1 概 要.....	(4)
2-2 変遷と現状.....	(4)
2-2-1 変 遷.....	(5)
2-2-2 スペーサの種類.....	(8)
2-3 スペーサの基本仕様.....	(11)
2-3-1 構造及び材料.....	(11)
2-3-2 性 能	(11)
2-3-3 試験項目及び方法.....	(14)
2-4 スペーサの適用設計.....	(27)
2-4-1 サブスパン振動.....	(27)
2-4-2 常時電流による電磁吸引現象.....	(28)
2-4-3 捻回復元理論.....	(29)
2-4-4 スペーサ取付間隔決定手法.....	(30)
2-4-5 スペーサ取付間隔の設計例.....	(31)
2-4-6 海外におけるスペーサ取付間隔.....	(32)
第3章 ジャンパ装置.....	(34)
3-1 概 要.....	(34)
3-2 変遷と現状.....	(34)
3-3 ジャンパ装置の基本仕様.....	(38)
3-3-1 構造及び材料.....	(38)
3-3-2 性 能.....	(40)
3-3-3 試験項目及び方法.....	(40)
3-4 ジャンパ装置の適用設計.....	(47)
3-4-1 ジャンパ装置の選定.....	(47)
3-4-2 横振れ特性とクリアランス設計.....	(48)
3-4-3 ジャンパ装置の適用設計例.....	(54)
3-4-4 プレハブ設計例.....	(56)
第4章 ダンパ.....	(59)
4-1 概 要.....	(59)

4-2	変遷と現状	(59)
4-3	ダンパの基本仕様	(60)
4-3-1	構造及び材料	(60)
4-3-2	性能	(62)
4-3-3	試験項目及び方法	(62)
4-4	ダンパの適用設計	(64)
4-4-1	防振設計手法	(64)
4-4-2	TACSR 810 mm ² 2 導体の防振設計例	(68)
4-4-3	TACSR 810 mm ² 4 導体の防振設計例	(69)
第5章 その他電線付属品		(70)
5-1	概要	(70)
5-2	ギャロッピングダンパ	(70)
5-2-1	ギャロッピング現象	(70)
5-2-2	ギャロッピングダンパ	(70)
5-3	6 導体用電線付属品	(71)
5-3-1	6 導体送電線の建設	(71)
5-3-2	6 導体用スペーサ	(71)
5-3-3	6 導体用ジャンパ装置	(72)
5-4	3 導体用電線付属品	(72)
5-4-1	3 導体送電線の建設	(72)
5-4-2	3 導体用スペーサ	(73)
5-4-3	3 導体用ジャンパ装置	(73)
5-5	8, 10 導体用電線付属品	(74)
5-5-1	8, 10 導体送電線の研究	(74)
5-5-2	素導体配列	(74)
5-5-3	8, 10 導体用スペーサ	(74)
5-5-4	8, 10 導体用ジャンパ装置	(75)
5-6	諸外国の電線付属品	(76)
5-6-1	スペーサダンパ	(76)
5-6-2	2 導体用スペーサ及び群スペーサ	(78)
第6章 今後の課題と展望		(79)
付録1. 多導体用電線付属品調査結果		(80)
付録2. 等価弾性力 $E\bar{A}$, 等価線路常数 \bar{M} の計算		(84)